
台風X号の学べるエッセイ、そうだったのか流れ弾地震

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

台風X号の学べるエッセイ、そうだったのか流れ弾地震

【Nコード】

N2301V

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

同人サークル台風X号オールスターズは、超巨大複合系サークルです。その中に勉強系が含まれています。そこから流れ弾地震のことについて解説していきます。初の勉強系投稿です。質問があれば感想ページで描いてください。

主題歌「絶対地震に負けたくない」

1 これを学ぶのにいたって

こんにちは台風X号です。

今回、再び地震が多くなってきたような気がしてきます。

このままでは、福井県もいつ揺れるかわかりません。

そもそも、東北太平洋側以外でも大きな地震が起こりやすくなったのか。気になりませんか。

そんな時は俺の学べる情報にお任せください。

とても簡単に簡潔に流れ弾地震についてを6回にわたって解説していきます。

まず、3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖地震発生。

M9.0というとても大きく大きな規模で震度7の地域もありました。

あの地震からとんでもない副産物が入った。

俺達は、あの絶望的な状況を忘れない。

そして現在、東北地方太平洋沖地震の余震域以外でも大きな地震が起こりやすくなっている。

これらは、余震域以外で観測した震度4以上の地震である。

3月12日、新潟中越地方。3月15日、静岡県東部。3月19日、茨城県北部。3月24日、茨城県南部。4月1日、秋田県内陸北部。4月12日、長野県北部。4月16日、栃木県南部。4月19日、秋田県内陸南部。6月4日、島根県東部、6月14日、釧路沖。6月30日、長野県中部、7月5日、和歌山県北部。7月21日、沖縄本島近海。7月24日、三重県南部。此の状況がまだ続く可能性があります。

次回は、その流れ弾地震に入って行きましょう。

1 これを学ぶのにいたって（後書き）

主題歌「絶対地震に負けたくない」の歌詞です。

1・全てが変わったあの日 恐怖とのつながりが
何れ断たれることを誓わん

泣いていても 見つからないそれは孤独という絶望
戦う前から 負けることばかり

考えていたら始まりは来ない

共に戦い 共に笑おう

地震なんかに俺達の絆は 絶つことはできない

無表情で寂しくなっても 決して逃げることはせずに
重ねられた絆がほほ笑む頃に 被災地に不死鳥が舞う

2・限りなく無理だと 己を封印してしまう

それを許さない君の誇りが

笑いあつて 試された仲間との思いに感謝して

愛情無欠の この想いが希望に変わる

さあ手をつないで辛さを共鳴させて

共に慰め 共に進化しよう

台風が来た時俺達の絆が 嵐を弾き飛ばしたように

昔ながらのやり方で友と 結びついて助け合い

昔の活気を取り戻せれる勇気と 結びつける友情を一つに

3・未来と世界はひとつ さり気なき絆が照らすよ
phenix up fight Japan!
いい気になるよりも助けることが常識さ

戦う前から 負けることばかり

考えていたら始まりは来ない

共に戦い 共に笑おう

地震なんかは俺達の絆は 絶つことはできない

無表情で寂しくなっているも 決して逃げることはせずに

重ねられた絆がほほ笑む頃に 被災地に不死鳥が舞う

昔ながらのやり方で友と 結びついて助け合い

昔の活気を取り戻せれる勇気と 結びつける友情を一つに

無断転載厳禁

2・流れ弾地震の定義と断層に与えられた悪影響

流れ弾地震、誘発地震と意味は同じのように見えて定義が違います。

どこが違うのかといいますと、地震の範囲です。

誘発地震の定義では、本震から離れた場所と書いてあるのですが、流れ弾地震では、半径2500キロメートル以内で起きた地震のことを指します。

和歌山県もちょうどこの定義の領域に入っているため、証拠になります。

流れ弾地震は、誘発地震とも言ってもいいですが、定義が違いため間違わずに使ってくだされば差支えないと思います。

その次に今回の大地震で、日本全体にどんな影響及ぼしたかを学習しておきましょう。

M9・0の地震は、日本全体の活断層に悪影響は、いまだに分からないと言われてますが、今後も震源域以外のところで大地震が起る可能性は十分にあると言ったほうがよいでしょう。

今回は、スマトラ島沖地震を参考に流れ弾地震のメカニズムを追いかけてみましょう。

2・流れ弾地震の定義と断層に与えられた悪影響（後書き）

あとがき、アンインストールという歌を初めて聞いてから2回目で心の中にしまつてあつた東日本大震災の記憶がフラッシュバックして東北の悲しい気持ち絶望がいずれアンインストールされますようにと願いを込めてことができました。今の東北は病みあがりになつてきたので絶望も悲しみもアンインストールされたと気づき、涙が出そうになりました。

それでも、まだ辛い気持ちを抱えている心をアンインストールする時間は相当掛かります。

あの津波の映像を見て、吐き気がしそうになりました。北陸に住んでいる自分ですが、あの映像は二度と見たくもない。と思いました。番組では津波の映像を振り返ることがあり、なんで振り返らせようとするんだという憤怒に満ちました。それぐらいあの映像を見て怖いと思つたのは生れてはじめてなのです。

流れ弾地震によつて第二、第三の被災地誕生にならないことを祈ります。

2007年能登半島地震で何もできなかった自分を嫌悪し、今回の地震で罪滅ぼしができれば楽になれると自分は思います。まだ、罪悪感が残つていて悔しくて寝る前に泣いたことが一度や二度じゃないです。

自分の心の闇は、自分で吹き飛ばしたいと誓います。過去の自分を許さないために。

3・スマトラ島沖地震から見える今後の流れ弾地震

スマトラ島沖地震M9・1～9・3というとても大きく大きな規模で起きた津波地震。

あの後、流れ弾地震が広い範囲にわたり発生した。

誘発地震またの名を流れ弾地震は、東北地方太平洋沖地震以降どうなっていくのか。そして、恐れられた連動地震発生の可能性は。

今回は、自分が計算して出したデータを見ていただくことにします。

一番、著しいところは関東東部です。

そこは、今後も震度5弱以上の地震が起こる可能性があるからです。

二番目は、若狭湾の周辺です。

マシンガン地震が発生しており、今後震度5弱以上の可能性があるからです。

三番目は、理解しがたいのですが、京都府中部

ここもマシンガン地震が多発。

そして四番目の日向灘。

ここは一発では、終わらない可能性があります。

M 7・0以上がどこで起きてもおかしくない状況がスマトラ島ですが、日本の場合は、M 6・0以上がどこへ起きてもおかしくない状況です。

次回は、6・0以上は行く可能性のあるエリアをご紹介します。

3 ・スマトラ島沖地震から見える今後の流れ弾地震（後書き）

マシガン地震のことに關してはたつぷりとご質問ください。

4・M6・0以上の可能性のあるエリア

東海・東南海・南海の3連動地震が最近話題になってますが、誘発地震の恐ろしいところは海で起きたら津波が起きる可能性があります。

自分は、震源空白域に目を光らせました。

震源空白域とは、かつては地震があつたと思われているが断層の活動が目立たないことから見逃されているケースもあります。

その中でも、自分の出身地、福井県の沖合に震源空白域があると分かりました。

2000年にM5・0の地震を起こしたものの、全く不定期な活動であるため、震源空白域の確定ができませんでした。

この場所、自分にとってはシュミレーションするのが苦いんです。

なぜかというと、推測されるMが、7・6。最大震度7で津波が最大5mとなる可能性があるからです。

緊急地震速報が発表される可能性のエリアは、福井県、石川県、富山県、京都府、滋賀県、岐阜県、兵庫県、愛知県となっており、震度5弱の範囲が広いと思われる。

大津波警報が発表されるエリアは、若狭湾、舞鶴湾。

津波警報は、福井県嶺北、石川県加賀。

津波注意報は、兵庫県日本海側、石川県能登半島。

なぜ、福井県沖地震が危ないのかというと早くても震災から6カ月後にも起きる可能性がある指摘する人がいるからです。自分は、震災から1年と2ヶ月後に起きると推測しています。

そのほかにもいくつか危険な部分があります。

6・0以上の誘発地震が起きるエリアは66か所にも及びます。あまりにもたくさんあるので、次回から少しずつアップしたいと思います。

バザードシステムイラストがほしい方は、[typxas7](#)にコメントをお取りください。

今回は、北海道方面から行きます。

北海道方面 01

定義は、M4.5以上です。被害が想定される場合は、被害地域、死者・負傷者・行方不明者に関することや建物の損壊も記述します。これは最悪のスケールの場合です。

このデータは、架空の国、アイヴィス共和国が独自に調査したものです。信用するかどうかは、煮るなり焼くなり好きにしてください。

標津断層帯、解析データ。M5.1。最大震度5弱。根室支庁半壊1棟。

択捉島沖、解析データ。M8.0。最大震度4。津波最大200?。

国後島付近、解析データ。M7.3。最大震度6弱。根室支庁12名重軽傷。半壊6棟。津波最大57?。

北海道北西沖、解析データ。M7.1。最大震度6弱。留萌支庁6名重軽傷。半壊7棟。石狩支庁82名重軽傷。全壊1棟。半壊14棟。津波最大41?。宗谷支庁1名死亡、102名重軽傷。全壊2棟、半壊17棟。

サロベツ断層帯、解析データ。M6.5。最大震度6強。留萌支庁9名死亡、81名重軽傷。全壊41棟、半壊100棟。宗谷支庁18名重軽傷、半壊7棟。

北海道方面01（後書き）

次回、北海道方面02

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2301v/>

台風X号の学べるエッセイ、そうだったのか流れ弾地震

2011年10月9日22時52分発行